



ひよこぐみだより 2月号

寒さの中にも、少しずつ暖かい日差しが感じられるようになってきました。子ども達は上着を脱いで遊ぶことも増えてくるほど戸外で元気に遊んでいます。自分自身で気付いて伝えてくれるようになっており、成長が見られています。



みんなで鬼は外!!!

3日の節分は自分たちで作ったお面をつけて園周辺を散歩しました。友達のつけている物を見て、「〇〇ちゃんのは青!」「こっちは赤やで!」と伝え合う様子が見られました。本園にある大きな鬼をみて「おっきい!」と友達に教えてくれたり、あまり見ないようにしたりと様々な反応がありました。

子ども達は園庭に帰ると、段ボールの鬼に向かって新聞で作った豆を投げました。大きな声で「おには〜そと!!!」と言いながら勢いよく豆を投げている子もいて、最初は怖がっていた子も友達の様子を見て、自ら豆を持ち、鬼に立ち向かっていく姿がありました。「えいっ!」投げていた姿に成長とたくましさを感じ、また自分たちで鬼に立ち向かうことができ自信がついたように感じました。



「もぐらどんの」であそんだよ

園庭や公園で「もぐらどんのおやどかね」というわらべうたで遊んでいます。みんなで手を繋いで輪になり、保育者と歌いながら回り、「もぐらさん、もぐらさん、朝ですよ、起きなさい。」のセリフもとても上手に言っています。もぐらさんが起きるか、まだ寝ているのかの駆け引きもあり、いつ逃げ出そうかハラハラ、ドキドキしながら遊んでいます。「は〜い!」と起きてきたもぐら役の保育者に追いかけてもらい、「きゃ〜!」と嬉しそうに声を上げながら駆け出していく子どもたちです。捕まっても「もういっかい!」と言って、繰り返し遊んでいました。自然とまた手を繋ぎ、輪になってまた遊びが始まっています。

わらべうたで遊びながら社会性やルールのある遊びに少しずつ触れている子どもたちです。今後も一緒に遊んでいきたいと思えます。



年度末に持ち帰る作品に、進級に向けて保護者の方からのメッセージを添えさせていただきたいと思っています。お忙しいと思いますが、別紙にメッセージを記入して提出をお願いします。